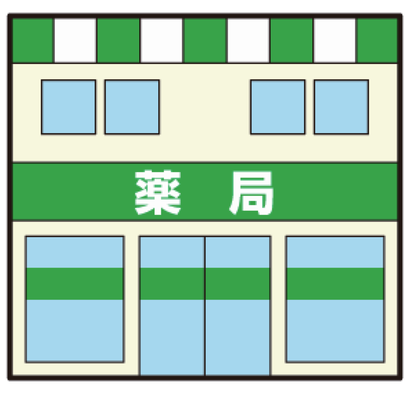
服薬情報提供書を介した処方提案への取り組み

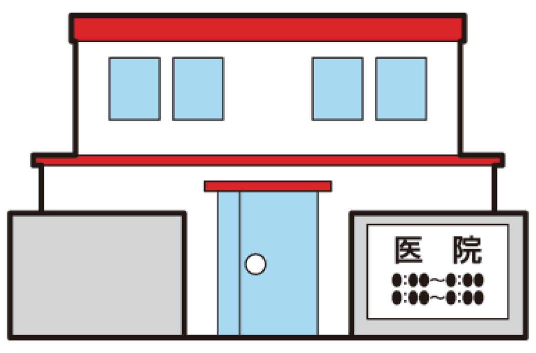
クオール薬局 SFC薬局結城山川新宿店
株式会社アルファーム
○沼倉 貴史

目的

薬剤師に求められる役割の一つに
患者の個別性に応じた薬物療法を中心とした問題解決への支援



◎保険薬局で得られた患者情報
○飲み誤り・飲み忘れ等服薬アドヒアランスの問題
○複数科受診・多剤併用による重複投与、相互作用等の問題
（OTC・健康食品を含めて）
○副作用歴・アレルギー歴・体質等の情報
○医薬品による患者の症状、ADL、QOL への影響の assessment、
それに基づいた Care Plan、Observational Plan、Education Plan
○医薬品の保管状況等
e.t.c

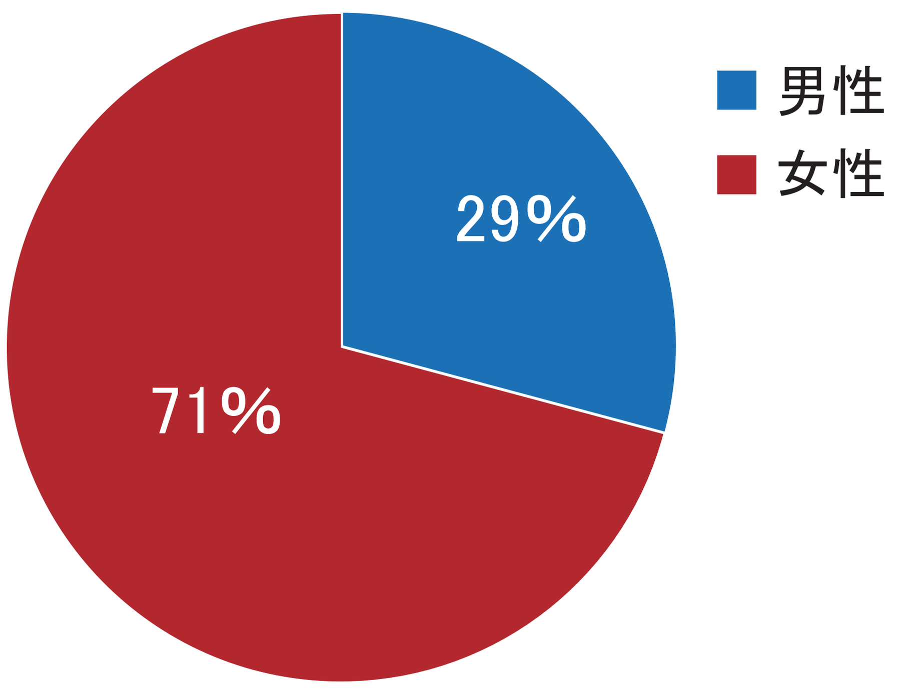


情報の共有化による薬物療法の向上

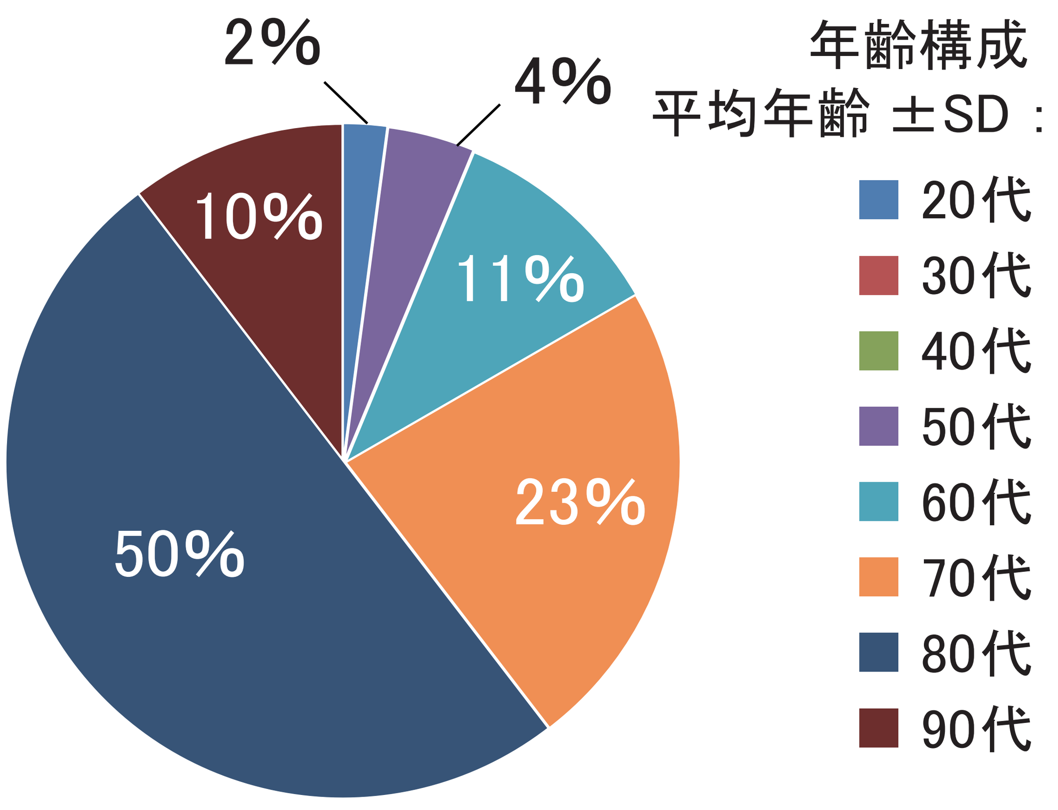
方法

2016 年 5 月～2017 年 3 月に SFC 薬局結城山川新宿店で
発行された服薬情報提供書 48 件の内容を精査

男女比（n=48）

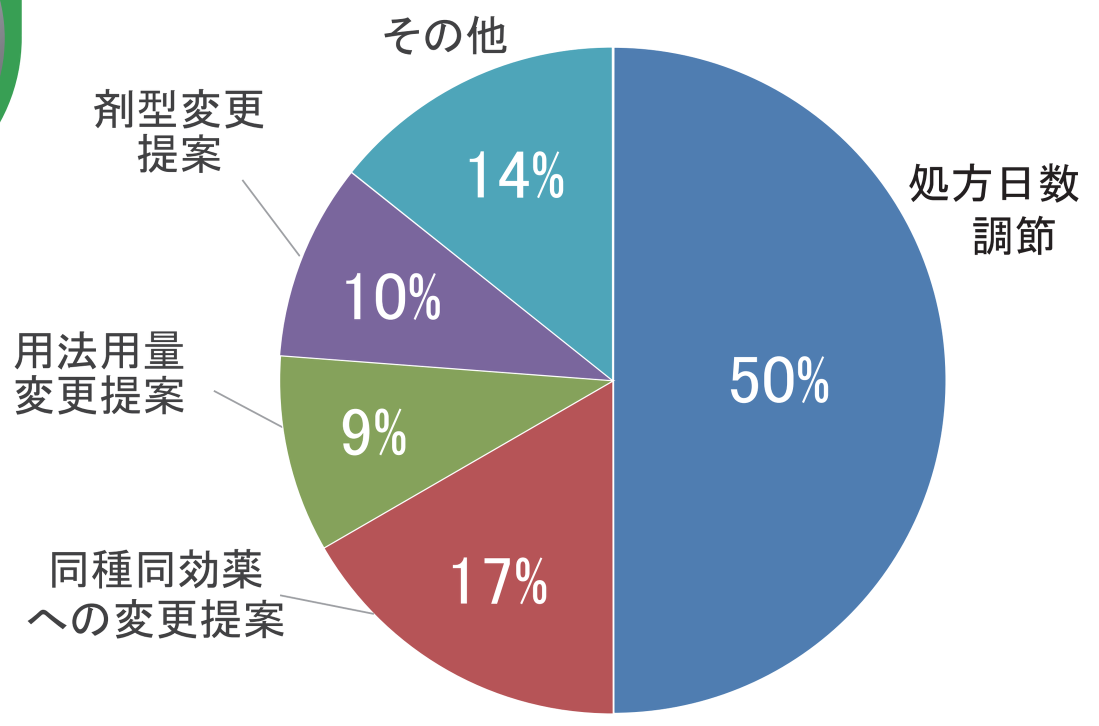


年齢構成（n=48）
平均年齢 ±SD：78.5±12.2 歳

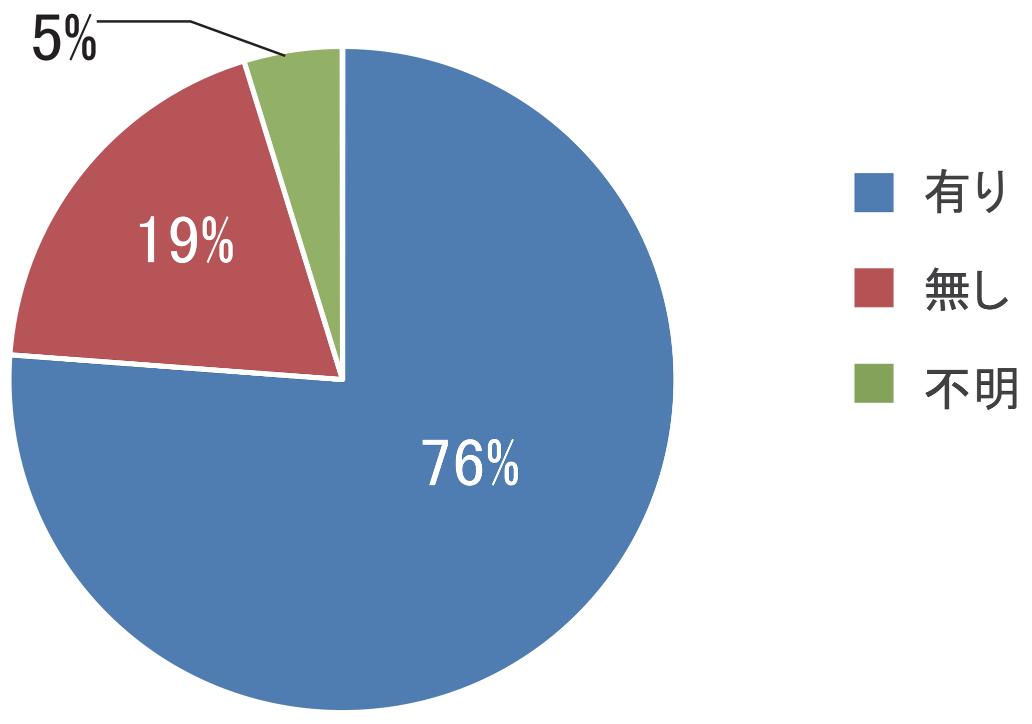


結果

処方提案の内訳（n=42　複数提案有）



処方提案実施率（n=42　複数提案有）



○処方日数調節による薬剤料削減効果
40,691 円 ／18 件 ※他 2 件は次回来局が無く、 日数調節ができなかった。 1 件あたり 2,260 円（235.2 ～ 6,145.2）

事例

事例1.独居の認知症の患者様　朝・夕食後一包化ご家族の方がお薬カレンダーにセット
Object：夕食後のお薬硝酸イソソルビド徐放カプセルが多く残る。
Assessment：服薬回数が多い事により服薬管理に困難をきたしている。
Care Plan：服薬回数を朝1回のみとし、24時間放出のイソソルビドテープに処方提案
⇒次回処方箋よりイソソルビドテープに処方変更。服薬アドヒアランス向上。

事例2.処方錠剤を粉砕調剤、徐放性フェソテロジンフマル酸塩錠を自宅で粉砕しているとのお話。
Assessment：粉砕により徐放性が損なわれ、AUCが大きく変わる可能性大。
Care Plan：過活動性膀胱適応薬剤の粉砕後の安定性を表にして情報提供。
⇒徐放性フェソテロジンフマル酸塩錠を含めて数種類の処方が減薬となる。
徐放性フェソテロジンフマル酸塩錠（-）後、頻尿等の自覚（-）。

考察

●服薬情報提供書の内容としては、残薬状況を報告し処方日数の調節を提案したケースが半分を占めた。当薬局では後発医薬品の使用率が高い為薬剤料の削減効果は限定的ではあるが、一定の効果を得られた。

●患者の生活状況を確認した上で、剤型変更を含む同種同効薬等への処方提案や、患者家族からの服薬状況の聞き取りに端を発した提案によりPolypharmacy対策につながった事例等は、薬剤師発信によるチーム医療での薬物療法の向上に貢献出来た。

●薬局で得られた情報を元に処方医へ提案をすることはできたが、何故変更にならなかったのか、医師の処方意図がわからなかった事例もあり情報提供の仕方を含めて課題となった。課題を見直した上で今後も服薬情報提供を継続し、更に多くの患者個々に合わせた服薬支援を多職種と協働していきたい。

COI 開示及び倫理的配慮：私は今回の演題に関連して、開示すべき利益相反はありません。なお、症例は患者が特定されないよう配慮しております。

アルファーム薬局

皆様のご意見を頂戴して、これからも改善していきたいと思っております。
ご意見、ご感想をいただける方は下記までご連絡をお願い致します。

【連絡先】アルファーム薬局　筑西店
〒309-1107　茨城県筑西市門井1676-23　TEL 0296-54-4344　FAX 0296-54-4345
E-mail：chikusei@alpharm.co.jp　URL：http://www.alpharm.co.jp